



2011年3月期 第3四半期決算概況

NTT都市開発株式会社 2011年2月3日

1. 2011年3月期 第3四半期決算業績ハイライト



業績及び損益状況

- 当第3四半期は、前期に対して営業収益は『増収』、営業利益、経常利益、四半期純利益は『増益』

(単位:百万円)

区 分	①2011年3月期 第3四半期決算	②2010年3月期 第3四半期決算	対前期 ①－②		2011年3月期 通期業績予想 (進捗率)	
			増減額	増減率		
営 業 収 益	104,520	104,199	320	0.3%	141,000	74.1%
営 業 費 用	83,283	92,263	△ 8,979	△ 9.7%	—	—
営 業 利 益	21,236	11,936	9,300	77.9%	24,000	88.5%
営 業 外 収 益	1,920	2,022	△ 102	△ 5.1%	—	—
営 業 外 費 用	6,235	6,398	△ 163	△ 2.6%	—	—
経 常 利 益	16,921	7,559	9,361	123.8%	18,000	94.0%
特 別 利 益	204	226	△ 21	△ 9.5%	—	—
特 別 損 失	1,570	798	772	96.8 %	—	—
法 人 税 等	6,475	9,243	△ 2,768	△ 30.0%	—	—
四 半 期 純 利 益 (△純損失)	9,079	△ 2,256	11,335	—	9,000	100.9%

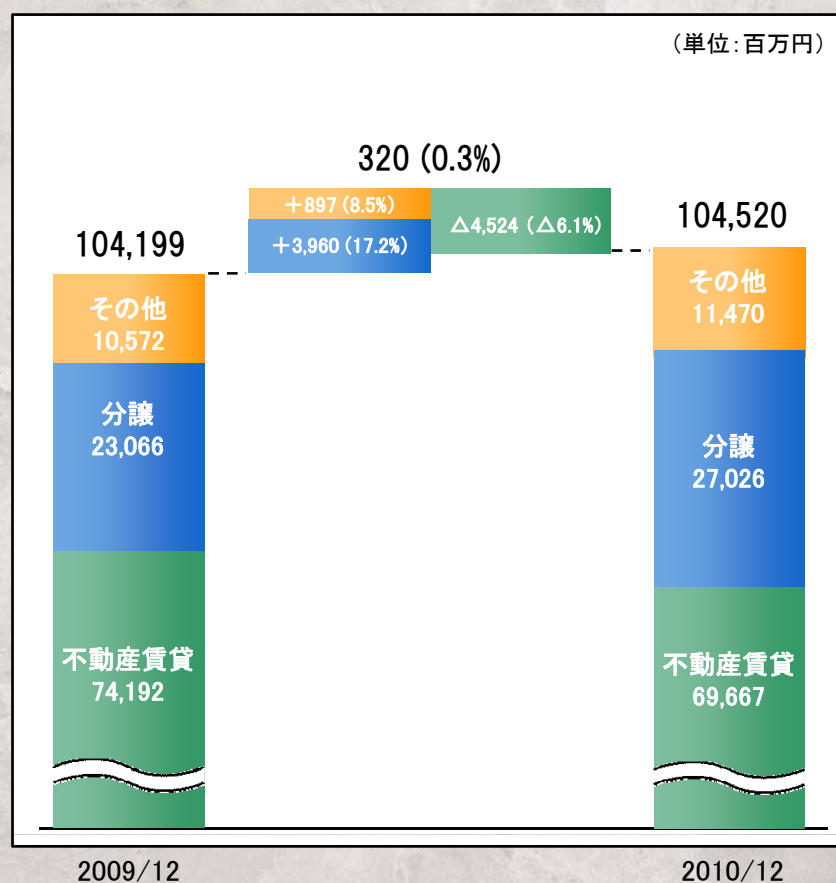
(注)業績予想は、2010年3月期決算発表時点(2010年5月12日)の数値であり、見直しは行っていない。

2. セグメント情報(営業収益・営業利益)



- 不動産賃貸事業は、新規物件の賃料収入(+17億円)があったものの、既存物件の賃料収入の減(△36億円)や前年度に実施した物件売却の影響(△26億円)等により、前期に対して減収(△45億円)、減益(△21億円)。
- 分譲事業は、マンション引渡戸数が減少(前期495戸→当期428戸)したものの、販売単価の増加や土地の売却等により、前期に対して増収(+39億円)、増益(+119億円)。

営業収益



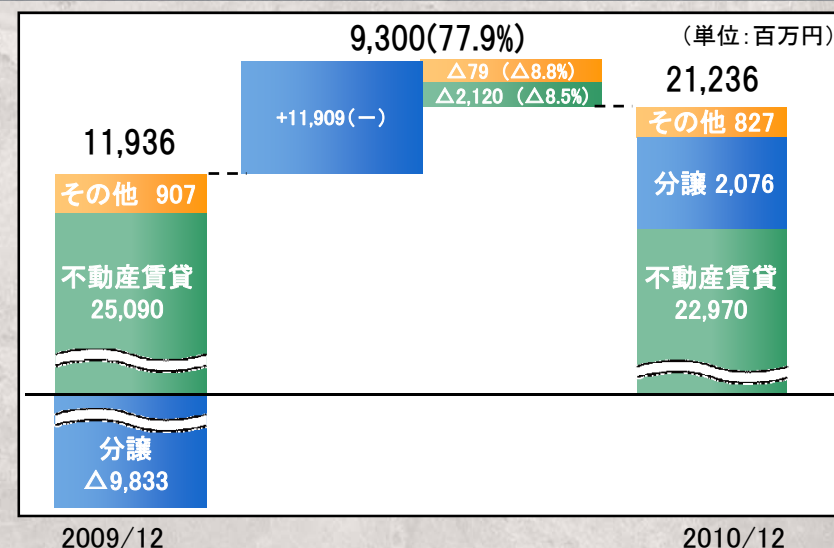
(注)内訳のセグメント数値は消去前

営業利益率

	2009/12		2010/12
不動産賃貸	33.8%	△ 0.8	33.0%
分譲	△ 42.6%	+50.3	7.7%
その他	8.6%	△ 1.4	7.2%
計	11.5%	+8.8	20.3%

(注)内訳のセグメント数値は「消去又は全社」考慮前

営業利益



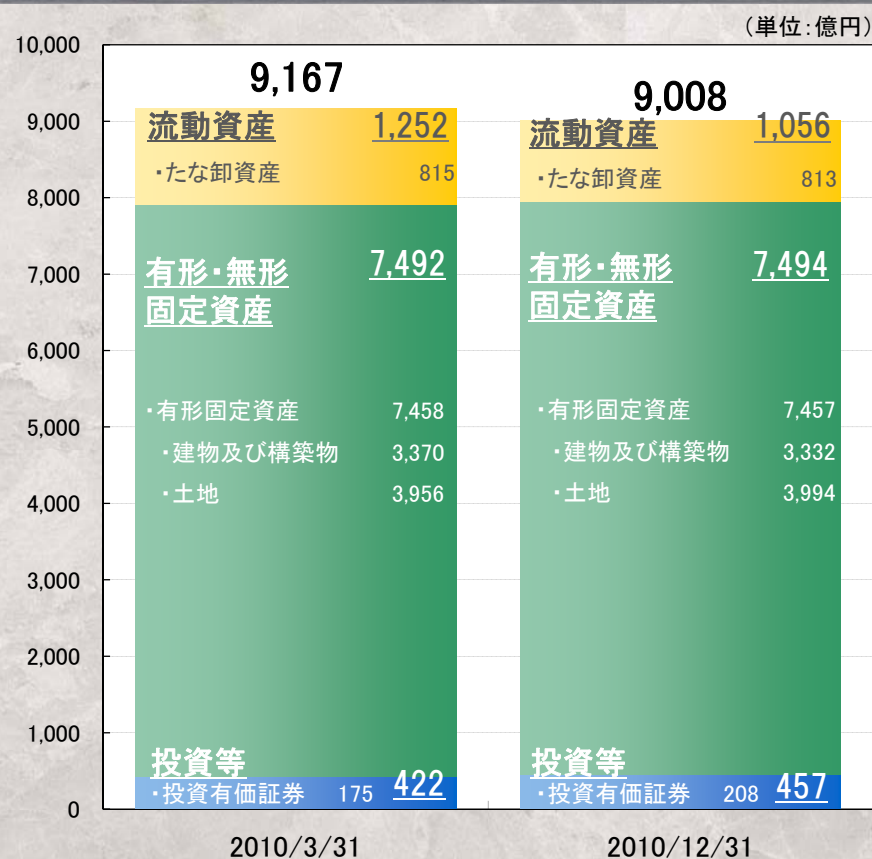
(注)内訳のセグメント数値は「消去又は全社」考慮前

3. B/S（総資産・投資）

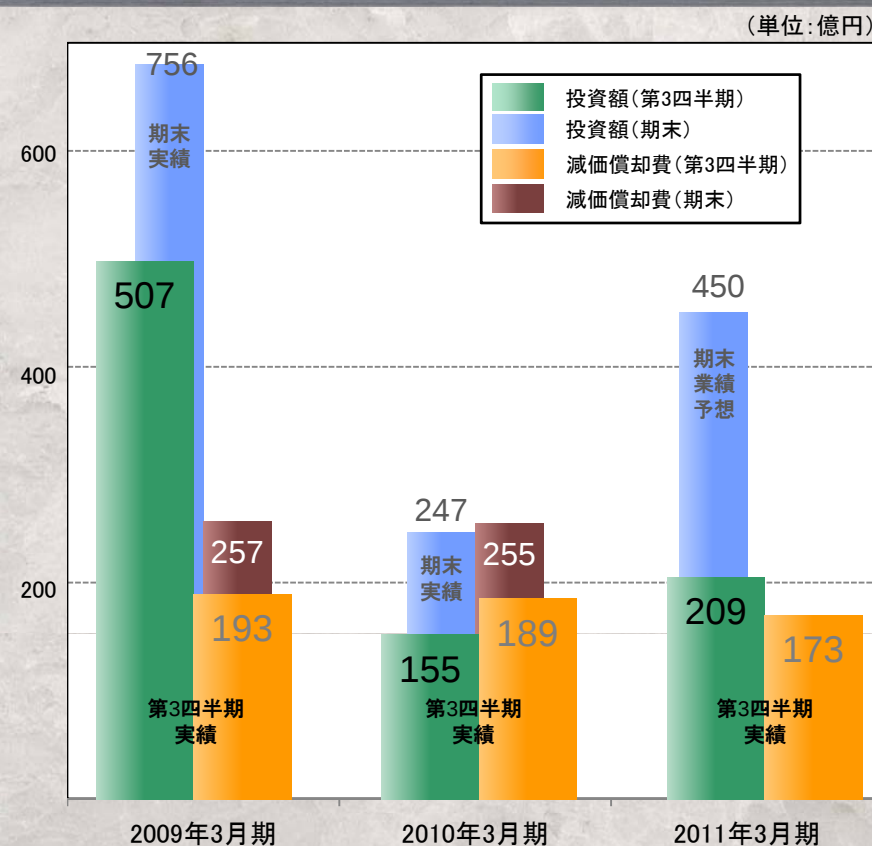


- 総資産は、9,008億円となり、前年度末比で△158億円の減少。
- 投資額(209億円、前期比+54億円)の主な内訳は、「アーバンネット四条烏丸ビル」および「住友商事名古屋ビル」がそれぞれ45億円と33億円、「プレミア投資法人」への出資が31億円等。

総資産



投資の状況

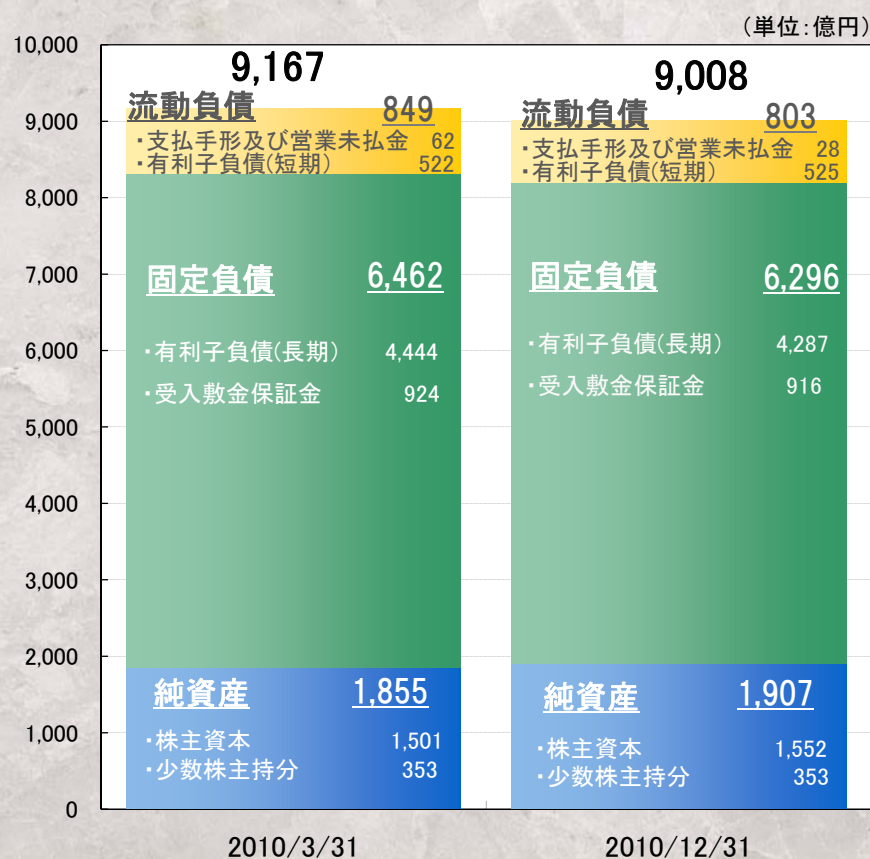


4. B/S（負債及び純資産・連結有利子負債）

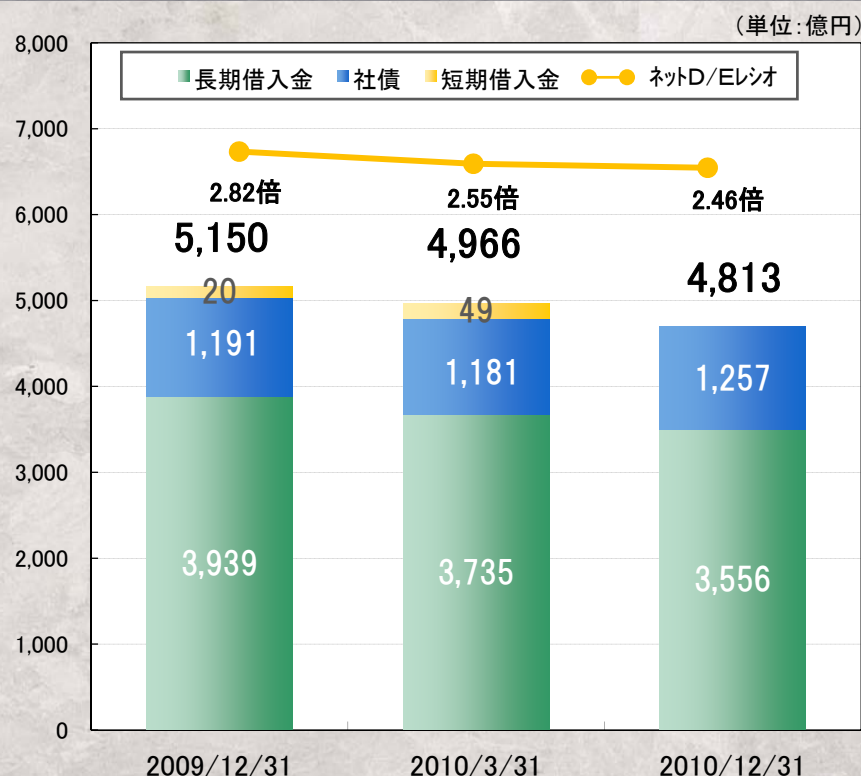


- 負債は、7,100億円となり、前年度末比で△211億円の減少。主な要因は、有利子負債の減少(△153億円)。
- 純資産は、四半期純利益(90億円)及び配当金支払(△39億円)等により前年度末比で52億円の増加。
- 連結有利子負債は、4,813億円となり、前年度末比で△153億円の減少。ネットD/Eレシオは2.46倍。

負債及び純資産



連結有利子負債の状況



(注1) 短期借入金には、「コマーシャル・ペーパー」を含む。(注2) 社債には「1年内償還予定の社債」を含む。
 (注3) 長期借入金には「1年内返済予定の長期借入金」を含む。
 (注4) ネットD/Eレシオ=(有利子負債-現金及び現金同等物-預け入れ期間が3ヶ月を超える定期預金)/純資産

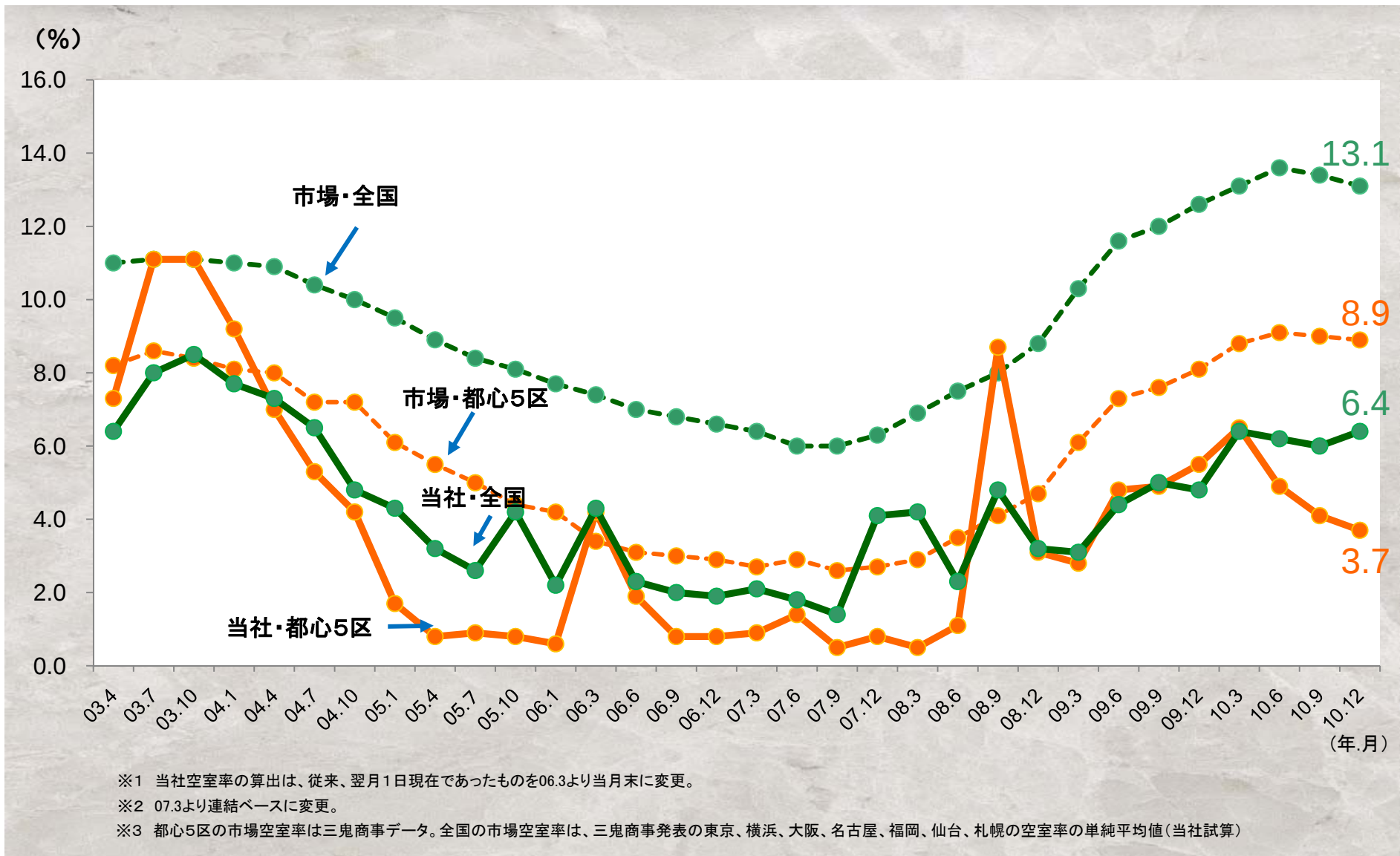
5. キャッシュ・フローの状況

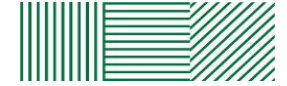


(単位:億円)

区 分	2011年3月期 第3四半期決算	2010年3月期 第3四半期決算	対前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	326	308	17
(再掲) 税金等調整前四半期純利益	155	69	85
(再掲) 減価償却費	173	189	△16
(再掲) 売上債権の増減額(△:増加)	100	0	100
(再掲) たな卸資産の増減額(△:増加)	2	167	△165
(再掲) 仕入債務の増減額(△:減少)	△34	△49	14
(再掲) 法人税等の支払額	△27	△40	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224	△147	△77
(再掲) 有形固定資産の取得による支出	△196	△156	△39
(再掲) 有形固定資産の売却による収入	12	15	△2
(再掲) 投資有価証券の取得による支出	△31	△0	△31
フリー・キャッシュ・フロー	101	161	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204	△112	△92
(再掲) 借入金等の増減額(△:減少)	△153	△60	△93
(再掲) 配当金の支払	△39	△39	△0
現金及び現金同等物の期首残高	205	86	118
現金及び現金同等物の期末残高	102	136	△33

6. 空室率の状況





本資料における、当社の計画、戦略及び意見並びにその他の記述のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実性を内包するものです。これらは、現在入手可能な情報をもとにした当社の仮定及び意見に基づいており、実際の業績は、環境の変化、及びその他の事由により、大きく異なる可能性があります。

特に断りのない場合、本資料は日本における会計方針に基づいて作成されています。